岡山学院大学・岡山短期大学
Okayama Gakuin University・Okayama College

No.43

同窓会報

発行所
住所　倉敷市有城787
発行者　岡山学院大学・
岡山短期大学同窓会
TEL：086-428-2651
発行日　令和５年５月

巻頭言

アフターコロナのこれから

岡山学院大学学長
岡山短期大学学長
岡山学院大学・岡山短期大学同窓会名誉会長
原田博史

同窓生の皆様におかれましては益々ご活躍のこととお喜び申しあげます。

平素は、母校の発展のためにご支援ご協力を賜り誠に有り難く厚くお礼申しあげます。

顧みますと令和２年の同窓会報に新型コロナウイルスの起源とWHOの対応、そして我が国の緊急事態宣言及び本学の初期の対応状況を皆様にお知らせしてから３年が経過しました。感染症拡大の波も８を数えて本年になり収束期に入ったようです。おかげさまで３月20日の卒業式は来賓への案内を控えるものの通常の模様の式典を挙行することができました。そして３月24日の令和５年度準備の大学及び短期大学在学生オリエンテーションにおいてはこれからの学内ではマスクの着用が自由であることを伝達することができました。ただし、マスクの効果は別としてエチケットとしてマスクの着用も必要な時もあることも伝えました。

さて、３年間のコロナ禍の間でも教学運営を進化させた内容を以下に記します。

岡山学院大学は、基礎教養科目を基礎教育科目へと変更し、人間基礎科目群・人間生活科目群・人間福祉科目群の３つの授業科目群を、クリエイティブ力基礎科目群・マネジメント力基礎科目群・ホスピタリティ力基礎科目群に再編しました。クリエイティブ力基礎科目群では、基礎的な知識から新しい知識・健康関連データを創造する力や新食品開発の企画力や研究開発力など栄養学分野の基本的な能力と知識を現代の諸問題と関連づけて展開できる力を獲得します。マネジメント力基礎科目群では、数量的スキルやICTリテラシーでSociety 5.0時代のビッグデータを管理・活用し、円滑なチームワーク、リーダーシップ、対人コミュニケーションで、個人のヘルスプランを創案し健康改善につなげる力を獲得します。ホスピタリティ力基礎科目群では、心身のサポートや精神的にケアする力、健康づくりをサポートするために信頼される社会人としての態度、信念、意見および責任を果たすために必要な倫理観、自己管理力などの力を獲得します。基礎教育科目がSociety 5.0時代の社会人として求められる学生の汎用的学習成果である態度、信念、意見、価値、コミュニケーション能力の獲得を促進します。

また、これまでサブカリキュラムとして取り扱っていた栄養教諭一種免許状を取得する教職課程をコアカリキュラムとするために、学生の専門的学習成果に、子どもが将来にわたって健康に生活していけるよう、食に関する指導（学校における食育）をする能力を獲得することを追加しました。このことは、本学が管理栄養士養成課程であると同時に栄養教諭養成課程であるとの認識を広め、更には人生百年時代のSociety 5.0に対応した基礎教育科目を含めて学生の卒業後の進路の視野を広げました。

そして同じく視野を広げるために、管理栄養士国家試験の受験者を開学初期のように希望者は全員受験ができるようにしました。管理栄養士養成施設であれば100％の合格率が求められるとのことから、受験勉強を促進するため国試対策ゼミでの学習状況によって受験を希望しても国家試験の受験が申し込めないというハードルを設けた仕組みを、国試対策ゼミを受講し、実力試験をすべて受験し、すべての実力試験の復習テストを受験し、その成績の向上に努めている希望者は全員が受験できるように改革しました。合格率は下がっても学生のキャリア意識の向上にはかなり効果があると信じています。日常的に学生の表情が明るいので効果が表れていると思います。

次に岡山短期大学の教学運営の進化についてお知らせします。

実務家教員に幼稚園と保育園を退職した二人の同窓の先生を得ることができました。幼稚園OGの先生は「幼児と環境，幼児と環境の指導法，保育・教職実践演習（幼稚園），教育課程論及び教育方法・技術論」の授業科目を、保育園OGの先生は「乳児保育Ⅰ，乳児保育Ⅱ，保育実習指導Ⅰ，保育実習指導Ⅱ，保育内容総論」の授業科目を担当し、それぞれ学生に理論と実践そして応用力という専門的学習成果を獲得させています。文部科学省が大学の教育学部など教職課程に小中高校長OBや現職教員を一定割合以上配置するよう義務付ける法改正を令和５年度に施行しようとしていることからも二人の先生の活躍が時宜を得たものであることが分かります。

さらに模擬保育室と保育相談実践室のパーテーションを取り除いて全面的に模擬保育室として授業で使用しやすいようにしました。また授乳とおむつ交換のコーナーと乳児や幼児の遊び空間を追加し、廊下には水槽と絵本のコーナーを

設け、さらに校舎の外には魚の飼育やうさぎの飼育コーナーを開設しました。今では授業で学生が一度に入室可能となり、その他学友会の保育クラブなど多様な利用も可能になりました。特に、おかたんみらい園として地域の親子クラブに利用していただくようになり開設当初の目的も徐々に進行しています。同窓生の皆様もぜひご利用ください。

おわりに令和５年度の展望として、大学及び短期大学ともに文部科学省の数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度への認定申請を上げておきます。この制度は学生の数理・データサイエンス・AIへの関心を高め、かつ、適切に理解し、それを活用する基礎的な能力を育成する教育プログラムを文部科学大臣が認定及び選定して奨励するものです。

本学は、人生百年時代のSociety 5.0を生き抜く人材を育成するため数理・データサイエンス・AIに関係する教育プログラムを大学及び短期大学の基礎教育科目に編成し実施をしていますが、本年度にこの選定を受けて本学の教育プログラムの質保証につなげたいと思っています。そして、大学は令和６年度に３回目の認証評価を（一財）大学・短期大学基準協会で受審することになるので令和５年度は全学的に学生の学習成果の獲得を焦点にしたPDCAサイクルを一層機能させて教学運営の充実・向上を図る所存であります。今後とも宜しくご支援ください。

同窓会総会・懇親会と同期会のお知らせ

第68回同窓会総会は、来る令和５年７月２日（日）の午前11時から倉敷ロイヤルアートホテルに於いて開催されます。今年は「５」がつく年の卒業生の方々が準備会の当番です。総会・懇親会は毎年有意義に楽しく進めております。お友達お誘いあわせの上、是非ご参加くださいますようお知らせいたします。なお、新型コロナウイルス感染症の流行状況によりまして、一部内容を変更させていただくことがございます。ご理解ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

１．日　　時

令和５年７月２日（日曜日）

総会　11：00～12：00　懇親会　12：00～14：00

２．場　　所

倉敷ロイヤルアートホテル　地下１階フィレンツェ

倉敷市阿知３-21-19（JR倉敷駅から徒歩10分）

TEL.086-423-2400

※会場に専用駐車場はございません。有料駐車場も数に限りがございますので、可能な限り公共交通機関をご利用ください。

３．総会次第

（１）令和４年度事業報告並びに決算報告

（２）監査報告

（３）役員紹介

（４）令和５年度事業計画（案）並びに予算（案）

（５）その他

４．懇 親 会

総会終了後、引き続きその場で行います。美味しい食事を頂きながら、楽しくお過ごしください。懇親会終了後は当番年の希望者の方々で同期会が開催される予定です。

５．参加費および申込方法

参　加　費　7,500円（新入会員 令和５年３月卒業者のみ3,000円）

申込方法　参加希望の方は、同封の郵便振替の払込取扱票により、会費をお振込みください。アレルギー等でお召し上がりになれない食材がございましたら払込取扱伝票の通信欄へご記入ください。可能な限り配慮させていただきます。

申込期限　令和５年６月５日（月）

申込キャンセル　６月12日（月）17時00分までに、下記担当者まで必ずご連絡をお願いいたします。期日までにご連絡が無い場合は欠席の場合でも参加費のご返金は出来ません。

６．お問い合わせ先

岡山学院大学岡山短期大学同窓会事務局

担当者：吉田（よしだ）・長谷川（はせがわ）

〒710-8511　倉敷市有城787　TEL：086-428-2651

FAX：086-429-0323

現在、代議員による同期会は予定しておりませんが、同窓会総会・懇親会に参加される当番年の方は同期会を開催していただくことも可能です。詳しくはお問い合わせ先までご連絡ください。

第68回同窓会総会準備会

令和４年度　同窓会役員

敬称略

名誉会長	岡山学院大学学長 岡山短期大学学長		原　田　博　史
会　　長	昭和４２年	保	中　塚　志津子
副 会 長	昭和４１年	保	森　上　敏　子
	昭和５８年	幼	平　松　弘　子
常務理事	平成２５年	食	北　條　由　貴
	平成２９年	食	吉　田　　楓
理　　事	昭和５８年	幼	吉　井　理　恵
	昭和６２年	幼	高　岸　益　子
	平成１４年	食	秋　田　文　恵
	平成１８年	食	山　口　泰　明
	平成２０年	食	平　野　　聡
	平成２４年	食	岡　部　麻　耶
	令和２年	幼	橋　本　慎一朗
監　　事	昭和４４年	食	井　頭　久　子
	昭和５２年	幼	西　　早　苗
	平成１５年	幼	木　村　太　郎

本部便り

令和２年度

令和２年度　第１回理事会　書面審議（令和２年４月23日発送）

1．令和元年度事業報告並びに収支決算報告について
2．令和元年度収支決算について監査報告
3．役員改選について
4．会員現況調査について
5．令和２年度事業計画案及び予算案について
6．岡山学院大学・岡山短期大学 第66回同窓会総会について
7．理事会の開催日時について

賛成多数で原案通り了承された。

令和２年度　第２回理事会　書面審議（令和２年12月23日発送）

1．ホームカミングデーの協力について
2．岡山学院大学・岡山短期大学 第66回同窓会総会及び懇親会について

賛成多数で原案通り了承された。

令和３年度

令和３年度　第１回理事会　オンライン開催（令和３年５月12日）

1．令和２年度事業報告並びに収支決算報告について名誉会長より案が出され、協議の上、決定された。
2．令和２年度収支決算について「適正な処理がなされていた」と監査報告があった。
3．令和３年度事業計画案及び予算案について、協議の上、一部修正を加え決定された。
4．岡山学院大学・岡山短期大学 第66回同窓会総会オンライン開催について、令和３年７月31日（土）にオンラインにて開催されることが協議決定した。
5．理事会の開催日時について、令和３年７月上旬にオンラインにて開催されることが協議決定した。
6．第６回関西同窓会は新型コロナウイルス感染症感染拡大のため延期となった。

令和３年度　第２回理事会（令和３年７月３日）

1．第66回同窓会総会・懇親会の役割が協議決定した。
2．第66回同窓会総会次第及び総会の準備を行った。

令和３年度　第３回理事会（令和３年12月２日）

1．第66回同窓会総会の反省が行われた。
2．第67回同窓会総会・懇親会の開催場所及び日程について、令和４年７月17日（日）に倉敷ロイヤルアートホテルにて開催することが協議決定した。

令和４年度

令和４年度　第１回理事会（令和４年５月31日）

１．令和３年度事業報告および収支決算報告について、協議の上、一部修正を加え決定された。
２．令和３年度収支決算について「適正な処理がなされていた」と監査報告があった。
３．令和４年度事業計画案および予算案について、協議の上、一部修正を加え、第２回理事会の際に再び協議されることとなった。
４．岡山学院大学・岡山短期大学同窓会 第67回同窓会総会中止について、協議の結果、延期し令和４年11月20日（日）倉敷ロイヤルアートホテルにて開催することが決定された。
５．理事会の開催日時について、第２回理事会は令和４年７月末～８月初旬、第３回理事会は令和４年10月末～11月初旬に開催されることとなった。

令和４年度　第２回理事会（令和４年７月30日）

１．令和４年度事業計画案および予算案について、協議の上、一部修正を加え決定された。
２．第67回同窓会総会の準備を行った。
３．理事会の開催日時について、第３回理事会は令和４年11月５日（土）に開催されることとなった。

令和４年度　第３回理事会（令和４年11月５日）

１．第67回同窓会総会・懇親会の準備を行った。
２．第67回同窓会総会・懇親会配布資料について、協議の上、一部修正を加え決定された。

令和４年度　第４回理事会（令和４年12月14日）

１．第67回同窓会総会・懇親会の報告および決算について報告があり、その後反省が行われた。
２．第68回同窓会総会・懇親会の開催場所及び日程について協議され、令和５年７月２日（日）に倉敷ロイヤルアートホテルにて開催することが決定した。

第 66 回同窓会総会記録

令和３年７月31日（日）11時、原田博史学長にご出席をいただき、オンラインにおいて、総会が開催された。

【第66回　同窓会総会】

１．開　　会　司会：平松弘子副会長
２．会 長 挨 拶　中塚志津子同窓会長
３．名誉会長挨拶　原田博史学長
４．物故者追悼（黙祷）
５．役 員 紹 介　役員自己紹介
６．議 長 選 出　橋本慎一朗氏（令和２年幼）
７．議　　事

⑴令和２年度事業報告並びに決算報告
北條由貴常務理事、吉田楓常務理事
・理事会…年２回（令和２年４月書面審議、12月書面審議）の開催
・準備会…新型コロナウイルス感染症感染拡大のため総会中止に伴い中止
・第66回同窓会総会・懇親会の中止（新型コロナウイルス感染症感染拡大のため）
・関西同窓会の延期（新型コロナウイルス感染症感染拡大のため）
・同窓会報第42号発刊（令和２年５月）
・ITリテラシー教育のための拠金（継続）
・ホームカミングデー（大学主催）に協力中止（新型コロナウイルス感染症感染拡大のためホームカミングデー中止に伴い中止）
・会員現況調査の実施

⑵監査報告　西早苗監事
「厳正なる監査を行ったところ適正なる処理ができていた」と報告された。

⑶令和３年度事業計画案並びに予算案
北條由貴常務理事、吉田楓常務理事
・理事会…年３回（令和３年５月、７月開催、12月開催予定）
・第66回同窓会総会・懇親会の開催（令和３年７月31日（土））
・ITリテラシー教育のための拠金（継続）
・ホームカミングデー（大学主催）に協力

８．閉　　会　森上敏子副会長

第 67 回同窓会総会記録

令和４年11月20日（日）11時、原田博史学長をはじめ、他５名の先生方のご出席をいただき、倉敷ロイヤルアートホテル（フィレンツェ）において、総会が開催された。

【第67回　同窓会総会】

１．開　　会　司会：平松弘子副会長、吉井理恵理事
２．会 長 挨 拶　中塚志津子同窓会長
３．名誉会長挨拶　原田博史学長
４．来 賓 紹 介　平松弘子副会長、吉井理恵理事より来賓紹介
５．来 賓 挨 拶　久保豊子先生
６．物故者追悼（黙祷）
７．役 員 紹 介　役員自己紹介
８．議 長 選 出　塚原秀典氏（平成23年幼）
９．議　　事

⑴令和３年度事業報告並びに決算報告
吉田楓常務理事
・理事会…年３回（令和３年５月、７月、12月）の開催
・準備会…新型コロナウイルス感染症感染拡大のため総会中止に伴い中止
・第66回同窓会総会・懇親会の開催（令和３年７月31日（土）　オンライン）
・関西同窓会の延期（新型コロナウイルス感染症感染拡大のため）
・ICTリテラシー教育のための拠金（継続）
・ホームカミングデー（大学主催）に協力中止（新型コロナウイルス感染症感染拡大のためホームカミングデー中止に伴い中止）

⑵監査報告　西早苗監事
「厳正なる監査を行ったところ適正なる処理ができていた」と報告された。

⑶令和４年度事業計画案並びに予算案

吉田楓常務理事

・理事会…年４回（令和４年５月、７月開催、11月、12月開催予定）
・準備会…令和４年10月（第67回同窓会総会準備会）令和５年２月予定（第68回同窓会総会第１回準備会）
・第67回同窓会総会・懇親会の開催（令和４年11月20日（日））
・同期会への補助…昭和42年３月卒、昭和52年３月卒（幼児教育学科）、昭和62年３月卒
・同窓会報第43号発刊（令和５年５月）
・ICTリテラシー教育のための拠金（継続）
・ホームカミングデー（大学主催）に協力

10. 閉　　会　　森上敏子副会長

【同窓会懇親会】

令和４年度の同窓会総会及び懇親会は卒業年に「２」「３」「４」がつく年の同窓会総会準備会の運営で開催されました。６名の先生方と35名の卒業生が一同に集い、平成23年３月に岡山短期大学幼児教育学科を卒業した塚原秀典さん、令和２年３月に岡山短期大学幼児教育学科を卒業した橋本慎一朗さんの司会進行で懇親会が始まりました。

塚原秀典さんの開会挨拶後、竹原良記先生に乾杯をしていただき、皆様にぎやかに食事が始まりました。懐かしい同級生や来賓の先生方としばらく会話を楽しみました。余興は原田博史学長先生のカラオケ〈テイクミーホームカントリーロード〉から始まりました。続いて昭和42年３月に岡山女子短期大学栄養科を卒業した角田操さんと橋本慎一朗さんに近況報告をしていただきました。続いての昭和52年幼児教育学科卒業有志の皆さんからクイズをしていただいた後に、昭和42年保育科卒業有志の皆さんから手遊びとクイズ・手品を披露していただき、会場は大いに盛り上がりました。

最後に毎年恒例になっている〈旧校歌〉〈旧学生歌〉〈大学校歌〉〈短大学歌〉を心の中で合唱しました。そして橋本慎一朗さんの閉会挨拶により、第67回同窓会総会及び懇親会は無事終了いたしました。

おいしい料理を囲み、同級生や、恩師の先生方と自由に懐かしい思い出話に花をさかせられていました。今回初めて参加したという同窓生の方もいらっしゃいましたがとても楽しんでいらっしゃいました。まだ同窓会総会・懇親会に参加されたことがない皆様、久しく参加されていない皆様、毎回楽しく会を開いておりますのでぜひ参加してください。お待ちしております。

ご出席いただきました先生方は、原田博史学長、久保豊子先生、原田俊孝副学長、竹原良記教授、畑伸秀教授、山田治来教授でした。ご参加ありがとうございます。次回もまたご参加いただき、同窓生と楽しい一時を過ごしていただければと思います。

第67回懇親会　会席

S42栄養科卒有志

R2幼児教育学科卒

S52幼児教育学科卒有志

S42保育科卒有志

大学校歌・短大学歌　合唱

昭和52年幼児教育学科卒　同期会

昭和52年　幼児教育学科卒　西早苗（旧姓：井上）

今回コロナ禍という事もあり、三年ぶりの倉敷ロイヤルアートホテルでの同窓会総会、懇親会が行われました。懇親会では、近況報告で、地域の中で現役で活躍されている事や、楽しい手あそび、クイズ等で、楽しませて頂きました。

同期会では、私達の年度は、三名という少人数となりましたが、他の年度の方と一緒にさせてもらいました。いろいろな立場、環境の中で、活躍されていて、元気一杯、聞いてる私も元気にさせてもらいました。時間を忘れるくらいあっという間の本当に楽しい時間を過ごすことができました。

私達の当番年度で、○×クイズに、皆様ご参加して頂きありがとうございました。

昭和42年卒　同期会

昭和42年　栄養科卒

【同窓会に参加して】

同窓会の役員の皆様、ありがとうございました。心から感謝です。卒業して55年、感慨深いですね。たった二年間のお付き合いなのになんと、居心地の良い空間なんでしょう。高校とは違った環境で学び友と出会った。日頃意識して生活している訳ではないのに、逢うと二年間の生活が甦り明日につながる、あっという間の二日間でした。参考になる話がいっぱいありました。大きいゴミ袋を持ち歩く件（突然の煙害、急な風雨、敷く、防寒等）大股で歩き、踵から着地する、早速実行しています。私は今は、すべてのことがありがたく、感謝感謝の充実した日々です。次回会える日が待ち遠しいです。

（丸山（旧姓：槇原））

学生時代にもどってお喋りでき、若返りました。その興奮は続いています。　（片山（旧姓：清水））

卒業して55年経って八名も集えたのは、声を掛けてもらい、その思いに応えたら、学生時代の想い出話はつきなかった。　（関東（旧姓：天野））

あっと言う間の二日間でした。深夜までのおしゃべり楽しかった。明日からと言わず今日から、大股で踵から着地。もう少しボランティアの農水産加工を頑張ります。（出井）

何年歳を重ねても、いつでも家を開けれることなんてない中、今回も皆さんそれぞれ苦心して参加してくださいました。「もう最後かもしれない」この言葉にみんなうなずきです。出たからには、ゆっくり話したいと一泊。55年前の学生に戻れたひとときを過ごすことができました。同窓会というきっかけがなかったらできなかった！同窓会の事務局に感謝です。卒業して55年の間、皆さんそれぞれいろんな事がありながら、同期会の話題は、あのときの学生生活や先生方の話で、誰一人自分の生活の話はなかった。

みんな若返った！これが同窓会だ！

同窓会の事務局の屋台骨がしっかりしていると感じたのは、私一人ではない、ラインをくれた方々皆さん、事務局に感謝の一言がありました。紙面に記するのは同窓会は「あの時に若返る」の一言につきます。　（角田操）

（同窓会に参加された皆様より寄せられたメールの文言を、幹事様より同窓会感想としてお寄せいただきました。紙面の都合上一部省略させていただいております。同窓会事務局）

岡山学院大学人間生活学部食物栄養学科
令和２年度卒業研究発表会

令和２年８月６日（木）、食物栄養学科「卒業研究Ⅰ」の発表会が行われた。内容は以下の通りである。

〔発表題目および発表者〕

「L-システインのはたらき」　高橋優里奈
「ラクトトリペプチドのはたらき」　佐藤杏香
「カルニチンの脂肪燃焼効果について」　森重優希
「オルニチンについて」　森野千紘
（研究指導：宮﨑正博教授）

さぬきうどんのおいしさに関する研究
「～市販生うどんにおけるゆで後の物性変化～」
滝本恭子
「～ゆで後の物性変化に及ぼすでんぷん添加の影響～」
増田彩衣
「～香川県著名うどん店の麺の物性の違い～」　綾野愛華
（研究指導：次田隆志教授・津村哲司准教授）

「子どもたちだけで作れる簡単レシピ作り」　橋本七海
「発達障害と栄養」　轟佳奈
「アレルギーや好き嫌いがある子どもたちが楽しく作れて美味しくたべられるレシピ作り」　田尾友香
「子どもの野菜嫌いについて」　森上佑之介
（研究指導：中原眞由美准教授）

「高齢社会における嚥下の重要性について」　川崎遥
「簡易粘度評価方法を用いたとろみの付き方の比較」
宮里大賀
（研究指導：佐藤幸枝講師）

岡山学院大学人間生活学部食物栄養学科
令和３年度卒業研究発表会

令和３年８月４日（水）、食物栄養学科「卒業研究Ⅰ」の発表会が行われた。内容は以下の通りである。

〔発表題目および発表者〕

「ジンセノサイドの働きについて」　大西未紗
「茶カテキンの生活習慣病予防効果について」　金築晴香
「グルコサミンアクティブのはたらき―健康寿命延伸のために―」　木下聖奈
「ギャバ（GABA）のはたらき」　佐伯友子
「アスタキサンチンの抗紫外線作用について」
浪平紗々葉
「サラシノールについて」　丸山結
「ウコンの機能性関与成分について」　三好空
（研究指導：宮﨑正博教授）

「肺がんに関係する遺伝子多型の探索」　淺田詩乃
「膵臓がんと多型遺伝子」　川崎鈴夏
「大腸がんと多型遺伝子」　原田美柚
（研究指導：清水憲二教授）

「茹で水量の違いがうどんの物性に与える影響（１）」
梶川祐佳
「茹で水量の違いがうどんの物性に与える影響（２）」
戸島歩夢
「茹で水の塩分量がうどんの物性に与える影響」
筒井優香
「茹で水のでんぷん濃度がうどんの物性に与える影響」
吉原彩華
（研究指導：次田隆志教授・津村哲司准教授）

「腸内環境改善と栄養教育」　池田梨乃
「高齢者の腸内環境改善―レジスタントプロテインの働き―」　北室結音
（研究指導：狩山玲子教授・内田雅子講師）

「子どものための野菜を使った献立」　奥野こなみ
「働く保護者のための野菜を使用した献立」　山本彪冴
（研究指導：中原眞由美准教授）

地域在宅高齢者のフレイル予防を目的とした研究
「地域在宅高齢者の舌圧と食品摂取との関連」　林美加
「地域在宅高齢者の栄養指導の検討①～指導媒体の作成～」
先田楓
「地域在宅高齢者の栄養指導の検討②～レシピ集の作成～」
宮西優花
（研究指導：平野聡講師）

「鹿児島県の健康・栄養問題とその改善策について」
重村沙也
「山口県の健康問題とその改善策について」　藤井琴子
（研究指導：髙槻悦子准教授）

「食事摂取量が少ない方への嚥下調整食の検討」
貝畑令奈
「大豆によるたんぱく質摂取に及ぼす影響と嚥下食の検討」　泊愛生
「缶詰を利用した在宅でのソフト食支援」　藤井利奈
「在宅での嚥下食の調理法について」　中村葵
（研究指導：佐藤幸枝講師）

岡山学院大学人間生活学部食物栄養学科
令和４年度卒業研究発表会

令和４年７月30日（土）、食物栄養学科「卒業研究Ⅰ」の発表会が行われた。内容は以下の通りである。

〔発表題目および発表者〕

「コエンザイムQ10とエイジングケア」　井頭毬衣
「L-カルニチンと脂肪燃焼について」　岡崎あかり
「ギャバ（GABA）のはたらき」　表江あずさ
「サラシノールのはたらき」　山下理佐
（研究指導：宮﨑正博教授）

「日本人の乳癌の発症リスクに関わる遺伝子多型」
久富愛侑
「日本人の膵臓癌の発症リスクに関わる遺伝子多型」
三宅陽大
（研究指導：清水憲二教授）

「麺の茹で条件の違いがうどんの硬さに及ぼす影響」
谷川晴香・常盤いずみ・元木美友
（研究指導：次田隆志教授・津村哲司准教授）

健康増進に向けての腸内フローラの改善に関する研究Ⅰ
「―腸内フローラについて―」　新山梨々花
「―腸内細菌と疾患―」　鵜川彩
「―乳酸菌について―」　柳川納緒
「―発酵性食物繊維について―」　室本遥香
「―オートミールによる便秘の改善―」　玉木梨乃華
「―会社員向けの健康食―」　渡邉壮一郎
（研究指導：狩山玲子教授）

健康増進に向けての腸内フローラの改善に関する研究Ⅱ
「―腸活とオリゴ糖について―」　井元美佑
「―レジスタントスターチの働きについて―」　堀優里香
「―肥満と腸活について―」　前田滉太
「―ヨーグルトと腸内環境について―」　清水珠央
（研究指導：内田雅子講師）
「ブルーベリーと目」　佐藤尚香
（研究指導：竹原良記教授）
ICT機器を用いた栄養教育方法に関する研究
「栄養教育におけるICT機器を用いた活用事例の調査」
池田優衣
「栄養指導への活用を目的とした調理動画教材の作成」
小椋紀佳
「栄養指導への活用を目的とした調理動画教材の活用」
柿原由依
「公開講座参加者の食事状況と動画を用いた栄養教育の影響」　田原彩夏
（研究指導：平野聡講師）
「簡易食事調査の実施とその結果及び考察」
岡﨑愛季・重枝侑花・田中杏深
（研究指導：髙槻悦子准教授）
「摂食嚥下障害について―在宅支援の食事の工夫―」
秦岡和生
「中鎖脂肪酸を使用した嚥下調整食について」　上枝駿介
「アボカドを使った嚥下調整食について」　本田理暉
「ミキサー＆ソフトを使って誰もが美味しい滑らか食を作ろう」　藤井結愛
（研究指導：佐藤幸枝准教授）

岡山短期大学幼児教育学科
令和２年度「子どもといっしょに運動会」中止

岡山短期大学幼児教育学科
令和３年度「子どもといっしょに運動会」中止

岡山短期大学幼児教育学科
令和４年度「子どもといっしょに運動会」

令和４年５月20日（金）、本学体育館において岡山短期大学幼児教育学科「子どもといっしょに運動会」（9：20開場　9：40開始　12：00終了）が開催された。令和２年度、令和３年度はコロナ禍のため中止されたが、本年度はコロナ禍が沈静化の兆しを見せたため、子どもの参加人数を抑えながら実施した。そのため団体は招待せず、近隣の親子を中心に参加を募り、保護者６名、子ども７名の参加があった。子どもたちは学生の工夫した各年齢別の種目に参加し、学生が演じる保育者の配慮や援助を受けながら競技を楽しんだ。大会のラストを飾る種目は１年生（学生・教員）対２年生（学生・教員）の対抗リレーが企画され、コロナ禍の陰鬱な雰囲気を吹き飛ばすかのような盛り上がりとなった。プログラムは以下のとおりである。

・開会式
・菌をやっつけろ！着せ替えレース（２歳児）
・踊れ！ダンシング玉入れ（３歳児）
・山あり谷あり障害物リレー（４歳児）
・走って走って走りまくれ！全力リレー（５歳児）
・休憩
・力を合わせてみんなでカレー作り（２・３歳児）
・みんなで繋げろ！ボール渡しレース（４・５歳児）
・燃えろ！リレー！（学生・教職員）
・閉会式

岡山短期大学幼児教育学科
令和２年度「子どもといっしょに発表会」

令和２年12月４日（金）、本学体育館において岡山短期大学幼児教育学科「子どもといっしょに発表会」（9：10開場　遊びの広場　9：55開会　11：40閉会）が開催された。コロナ禍に鑑み、外部からは観客を招待しないで開催された。プログラムは以下のとおりである。

・開場　遊びの広場
　手作り遊具コーナー（図画工作ゼミ）
　おはなしのコーナー（言葉ゼミ）
・開会宣言（２年生）
・主任教授挨拶
・吹奏楽演奏（吹奏楽ゼミ）
　「さんぽ」「にんげんっていいな」「あわてんぼうのサンタクロース」
・オペレッタ（２年生作品）
　「白雪姫」
・幼児ダンス（表現ゼミ１年生）
　「I Like It/TEMPURA KIDZ」
・幼児ダンス（表現ゼミ２年生、社会ゼミ２年生）
　「マスカット／ゆず」
・ミュージックベル演奏（幼児と音楽ゼミ）
　「ミッキーマウス　マーチ」「おめでとうクリスマス」「ジングルベル」
・幼児ダンス（公務員ゼミ）
　「バナナくんたいそう」
・オペレッタ（２年生作品）
　「おおきなかぶ」
・閉会挨拶（２年生代表）
・子ども役（情報ゼミ、英語コミュニケーションゼミ、児童心理学ゼミ）

岡山短期大学幼児教育学科
令和３年度「子どもといっしょに発表会」

令和３年12月３日（金）、本学体育館において岡山短期大学幼児教育学科「子どもといっしょに発表会」（9：10開場　遊びの広場　9：55開会　11：40閉会）が開

催された。コロナ禍に鑑み、外部からは観客を招待しないで開催された。プログラムは以下のとおりである。
・開場　遊びの広場
　おはなしのコーナー（言葉ゼミ）
　森の文化祭（図画工作ゼミ）
・開会宣言（２年生）
・主任教授挨拶
・吹奏楽演奏（吹奏楽ゼミ）
　「ミッキーマウス　マーチ」「ドラえもん」「ジングルベル」
・オペレッタ（２年生作品）
　「赤ずきんちゃん」
・幼児ダンス（表現ゼミ１年生）
　「友よ/ケツメイシ」
・幼児ダンス（表現ゼミ２年生）
　「あいうえおんがく♪／GReeeeN」
・ミュージックベル演奏（幼児音楽ゼミ）
　「もののけ姫」「さんぽ」「カントリーロード」「あわてんぼうのサンタクロース」
・合唱（公務員ゼミ）
　「どんないろが好き」「世界中の子どもたちが」
・オペレッタ（２年生作品）
　「白雪姫」
・閉会挨拶（２年生代表）
・子ども役（情報ゼミ、児童心理学ゼミ）

岡山短期大学幼児教育学科
令和４年度「子どもといっしょに発表会」

令和４年12月２日（金）、本学体育館において岡山短期大学幼児教育学科「子どもといっしょに発表会」（９：10開場　遊びの広場　９：55開会　11：40閉会）が開催された。本年度はコロナ禍が沈静化の兆しを見せたため、観客人数を100名に限定して近隣の園児・親子を招く計画を立てた。近隣の保育所に問い合わせたところ、「園児たちもお出かけしたい気持ちが強いし、本来の保育には必要な活動ですので是非参加させていただきます」とのことで、100名近くの園児が来場する予定であったが、新型コロナの第８波と重なったため残念ながら不参加となった。しかしながら近隣の親子クラブ等からは保護者12名、子ども９名の参加があり、遊びの広場で学生と遊んだり、舞台発表を観覧して楽しい時間を過ごした。プログラムは以下のとおりである。
・開場　遊びの広場
　おはなしのコーナー（言葉ゼミ）
　海であそぼう（図画工作ゼミ）
・開会宣言（２年生）
・主任教授挨拶
・吹奏楽演奏（吹奏楽ゼミ）
　「勇気100％」「It's a small world」「名探偵コナンのテーマ」
・オペレッタ（２年生作品）
　「大きなかぶ」
・幼児ダンス（表現ゼミ１年生）
　「スマイル/森七菜」
・幼児ダンス（表現ゼミ２年生）
　「私は最強/Ado」
・ペープサート（幼児と音楽ゼミ）
　「おやゆび姫」
・ミニ・オペレッタ（公務員ゼミ）
　「パウ・パトロール」
・オペレッタ（２年生作品）
　「シンデレラ」
・閉会挨拶（２年生代表）
・受付（児童心理学ゼミ）
・受付後の対応（公務員ゼミ）
・撮影係（情報ゼミ）

岡山短期大学幼児教育学科
令和２年度卒業研究発表会

令和２年度岡山短期大学幼児教育学科「卒業研究発表会」は12月18日～１月15日の間でそれぞれのゼミにおいて行われた。発表題目・発表者・指導教員は以下のとおりである。

〔発表題目および発表内容〕

「幼児の言葉を育てる保育者を目指して」
髙橋礼奈、藤岡咲里、渡邊治実
（指導教員：浦上博文（言葉ゼミ））

「保育現場におけるアニメの流行に関する考察」
窪田萌、村上ほのか、山中綾菜
（指導教員：都田修兵（教育学ゼミ））

「循環や環境負荷軽減を意識した造形遊びの研究」
大石来夢、小幡采代、佐藤恵美、多和麗、藤田藍華、藤原李音
（指導教員：関野智子（図画工作ゼミ））

「身体表現に関する研究　―５歳児を対象として―」
市場みくう、西山好香、濵岡璃奈、原田紗希穂、槙本萌々
（指導教員：吉田升（表現ゼミ））

「『子どもといっしょに発表会』幼児と音楽ゼミ発表の取り組み」
草野亜美、田口真未、田中杏花、永原由唯、藤原有菜、枡谷仁奏、宮原麻衣
（指導教員：大羽恵子（幼児と音楽ゼミ））

「生きた音楽を通した情緒教育」
石丸舞、小林愛子、谷向日葵、西澤千春、舟橋晴華
（指導教員：井上充隆（吹奏楽ゼミ））

「“よい子いっぱいのまち倉敷”の文化財めぐり　～倉敷市美観地区編～」

北本優奈、竹内南帆、箱崎莉奈
（指導教員：尾崎聡（社会ゼミ））
「色の数と食欲の増加について」
武田朱音、藤井巳加
（指導教員：大賀恵子（児童心理学ゼミ））
「保育現場での英語活動　―手袋シアターを使って―」
浅野裕花、岩田きらり、神原花帆
（指導教員：濵田佐保子（英語ゼミ））

岡山短期大学幼児教育学科
令和３年度卒業研究発表会

令和３年度岡山短期大学幼児教育学科「卒業研究発表会」は１月14日～１月21日の間でそれぞれのゼミにおいて行われた。発表題目・発表者・指導教員は以下のとおりである。

〔発表題目および発表内容〕

「保育のAI化について―SENSE-Uシステムの有効性とその課題―」
朝川優凛、大崎加奈未、川向帆香、清水真矢、松尾なつめ
（指導教員：原田俊孝（情報ゼミ））
「幼児の言葉を育てる保育者を目指して」
加藤美咲、坪井悠莉、山砥空、山本愛也、吉岡芹華
（指導教員：浦上博文（言葉ゼミ））
「Society5.0と図画工作～「森のぶんかさい」ができるまで～」
阿南七海、岡部聖奈理、小野紗佳、川本碧桜、八田ゆきの、旗手悠美、牧野来夢
（指導教員：関野智子（図画工作ゼミ））
「身体活動に関する研究―幼児ダンスに着目して―」
内海香鈴、世古海里、丸山夢乃、渡辺芽衣
（指導教員：吉田升（健康・表現ゼミ））
「Society5.0と幼児音楽―音楽アプリを活用した『子どもの歌』作り―」
岡本香月、川本楓華、日谷美友、古田華子、蔭下栄子
（指導教員：大羽恵子（幼児と音楽ゼミ））
「インターネットや動画配信サービスなどのビッグデータを活用した吹奏楽ステージの形成」
下村遥、高尾舞、竹内理沙、野口貴栄、増田理芳
（指導教員：井上充隆（吹奏楽ゼミ））
「アニメソングが乳幼児に及ぼす影響―アンケートを踏まえた作詞・ストーリー―」
石井菜々美、白神未唯
（指導教員：大賀恵子（児童心理学ゼミ））
「令和３年度公務員ゼミの取組」
石飛彩楓、岩崎汐里、栗坂采奈、近藤春菜、島田美月、寺岡朋香
（指導教員：尾崎聡・都田修兵（公務員ゼミ））

岡山短期大学幼児教育学科
令和４年度卒業研究発表会

令和４年度岡山短期大学幼児教育学科「卒業研究発表会」は１月14日～１月21日の間でそれぞれのゼミにおいて行われた。発表題目・発表者・指導教員は以下のとおりである。

〔発表題目および発表内容〕

「保育者業務のsociety5.0化―日案作成業務のハイブリット化の一考察―」　景山未稀
（指導教員：原田俊孝（情報ゼミ））
「保育者業務のsociety5.0化―園務管理システムを導入している園としていない園の比較からみるメリットとその課題の一考察―」　酒井翔野、前原愛香
（指導教員：原田俊孝（情報ゼミ））
「幼児の言葉を育てる保育者を目指して」
住田海優、月本彩心、橋本奏音、畠山遥、松家ひなた、吉田海希
（指導教員：浦上博文（言葉ゼミ））
「Society5.0と図画工作」
井澤望子、木村穂香、坂田七海、白川優香、平野内はるか、檜田莉恋、古野貴和、前田かりん、森田鈴音
（指導教員：関野智子（図画工作ゼミ））
「身体表現活動に関する研究」
黒明佳子、田邉萌、松岡菜々美、三宅姫歌
（指導教員：吉田升（表現ゼミ））
「Society5.0と幼児音楽―ボーカロイドによるペープサートオペレッタ『おやゆび姫』―」
阿南希美、佐々木春菜、原田心愛
（指導教員：大羽恵子（幼児と音楽ゼミ））
「インターネットや動画配信サービスなどビックデータを活用した吹奏楽ステージの形成」
井名咲希、河田加奈、堀内咲乃、前垣七海、渡邊光李
（指導教員：井上充隆（吹奏楽ゼミ））
「乳幼児に伝える歯の健康に関する研究」
大塚咲芽、影山七海、瀬尾美憂、永吉令奈
（指導教員：大賀恵子（児童心理学ゼミ））
「令和４年度公務員ゼミの取組」
大岡虹斗、小野川翔貴、梶木美里、久保美乃梨、坂野彩、彦上乃愛、三宅彩花、村田香月、山崎清加、山本凌大、渡邉実悠
（指導教員：尾崎聡・都田修兵（公務員ゼミ））

【同窓会 50 年の歩み】記念誌のご案内

なつかしい学生時代の様子や校舎の写真が詰まった同窓会50周年記念誌（平成15年10月発行）はいかがですか？

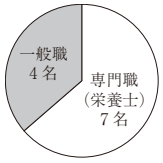
○販売期間：在庫の限り
○価　　格：800円（記念誌￥500＋送料￥300）

令和３年３月卒業生就職状況

【岡山学院大学】

人間生活学部　食物栄養学科

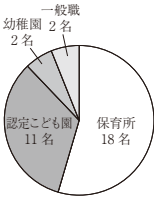
卒業者数	14名
就職希望者数	12名
専門職（栄養士）	7名
一般職	4名



【岡山短期大学】

幼児教育学科

卒業者数	37名	幼稚園	2名
就職希望者数	33名	一般職	2名
保育所	18名		
認定こども園	11名		



○申込方法：郵便振替（郵便局にてお振込みください。）

口座番号：01220-5-4076

加入者名：岡山学院大学岡山短期大学同窓会

通 信 欄：「『同窓会50年の歩み』希望、ご住所、お名前、電話番号」をご記入ください。（領収書は大切に保管ください。）

【お問い合わせ先】

岡山学院大学岡山短期大学同窓会事務局

〒710-8511　岡山県倉敷市有城787

（Tel：(086)428-2651）

岡山学院大学・岡山短期大学 令和元年度後援会事業報告

1．概要

・岡山学院大学岡山短期大学後援会
　令和元年度理事
　（岡山学院大学　10名　岡山短期大学　6名）

・設置する学校・学部・学科
　岡山学院大学　人間生活学部　食物栄養学科
　岡山短期大学　幼児教育学科

・当該学校・学部・学科の入学定員、学生数の状況
（令和元年５月１日現在）

学校名	学部・学科等名	開設年度	入学定員	収容定員	現員	備考
岡山学院大学	人間生活学部 食物栄養学科	年度 H14	人 40	人 160	人 114	H22 定員変更 100→40
	計		40	160	114	
岡山短期大学	幼児教育学科	年度 S33	人 100	人 200	人 107	H22 定員変更 150→100
	計		100	200	107	

教職員数

	法人	岡山学院大学	岡山短期大学	合計
専 任 教 員	0	16	13	29
専任事務職員	1	9	8	18

兼担及び非常勤教員数

	岡山学院大学	岡山短期大学
兼 担 教 員	9	3
非 常 勤 教 員	7	10

2．事業の概要

・当該年度の事業の概要・目的

事　業	概　要　・　目　的
校舎内清掃代の助成	各棟清掃代金の助成　3,090,029円
無料通学バス運行費用の助成	倉敷駅前（７番乗場）～本学Ａ棟前間の無料直行バス運行 （登校時２便・下校時３便） 令和元年度　運行日数　192日、延べ　24,849人乗車 無料通学バス運行費用の助成　9,403,200円
地域貢献活動に対する助成	第13回地域訪問栄養長寿教室 学生移動用貸切バス代助成　50,760円 栄養診断測定機器運搬用レンタカー代助成　14,937円 （令和元年７月13日（土）） 第14回地域訪問栄養長寿教室 学生移動用貸切バス代助成　50,760円 栄養診断測定機器運搬用レンタカー代助成　14,713円 （令和元年10月26日（土）） 令和元年度 児島地区食育栄養まつり参加 学生移動用タクシー代助成　8,390円 （令和元年11月17日（日））
入試広報活動への協力	「在学生の保護者の声を聞くフリートークカフェ」実施 （令和元年７月20日（土）・８月17日（土）・８月18日（日）・９月８日（日）） 内容：後援会役員である本学学生の保護者が、オープンキャンパス参加学生の保護者に対して、本学の特色などを自由に語ることで、受験者の増加を図った。

岡山学院大学・岡山短期大学
令和２年度後援会事業報告

１．概要

・岡山学院大学岡山短期大学後援会
令和２年度理事（岡山学院大学　８名　岡山短期大学　４名）

・設置する学校・学部・学科
岡山学院大学　人間生活学部　食物栄養学科
岡山短期大学　幼児教育学科

・当該学校・学部・学科の入学定員、学生数の状況
（令和２年５月１日現在）

学校名	学部・学科等名	開設年度	入学定員	収容定員	現員	備考
		年度	人	人	人	
岡山学院大学	人間生活学部 食物栄養学科	H14	40	160	98	H22 定員変更 100→40
	計		40	160	98	
		年度	人	人	人	
岡山短期大学	幼児教育学科	S33	100	200	80	H22 定員変更 150→100
	計		100	200	80	

教職員数

	法人	岡山学院大学	岡山短期大学	合計
専　任　教　員	0	16	12	28
専任事務職員	1	9	8	18

兼担及び非常勤教員数

	岡山学院大学	岡山短期大学
兼　担　教　員	9	3
非 常 勤 教 員	8	10

２．事業の概要

・当該年度の事業の概要・目的

事　　業	概　要　・　目　的
校舎内清掃代の助成	各棟清掃代金の助成　3,147,252円
無料通学バス運行費用の助成	倉敷駅前（７番乗場）～本学Ａ棟前間の無料直行バス運行 （登校時２便・下校時３便） 令和２年度　運行日数　172日、 延べ　17,133人乗車 無料通学バス運行費用の助成 8,514,000円
入試広報活動への協力	「在学生の保護者の声を聞くフリートークカフェ」実施 （令和２年７月19日（日）） 内容：後援会役員である本学学生の保護者が、オープンキャンパス参加学生の保護者に対して、本学の特色などを自由に語ることで、受験者の増加を図った。

岡山学院大学・岡山短期大学
令和３年度後援会事業報告

１．概要

・岡山学院大学岡山短期大学後援会
令和３年度理事（岡山学院大学　８名　岡山短期大学　４名）

・設置する学校・学部・学科
岡山学院大学　人間生活学部　食物栄養学科
岡山短期大学　幼児教育学科

・当該学校・学部・学科の入学定員、学生数の状況
（令和３年５月１日現在）

学校名	学部・学科等名	開設年度	入学定員	収容定員	現員	備考
		年度	人	人	人	
岡山学院大学	人間生活学部 食物栄養学科	H14	40	160	104	H22 定員変更 100→40
	計		40	160	104	
		年度	人	人	人	
岡山短期大学	幼児教育学科	S33	100	200	95	H22 定員変更 150→100
	計		100	200	95	

教職員数

	法人	岡山学院大学	岡山短期大学	合計
専　任　教　員	0	16	11	27
専任事務職員	1	7	7	15

兼担及び非常勤教員数

	岡山学院大学	岡山短期大学
兼　担　教　員	7	3
非 常 勤 教 員	8	10

２．事業の概要

事　　業	概　要　・　目　的
校舎内清掃代の助成	各棟清掃代金の助成　2,203,344円
無料通学バス運行費用の助成	倉敷駅前（7番乗場）～本学Ａ棟前間の無料直行バス運行 （登校時2便・下校時3便） 令和3年度　運行日数　189日、 延べ　16,843人乗車 無料通学バス運行費用の助成 9,353,300円

岡山学院大学･岡山短期大学
ICTリテラシー教育のための拠金者一覧

（令和2年1月～令和4年12月の拠金者）

卒年	学科	氏名	旧姓
S32	家政	宇　野　瑞　江	（石　原）
S32	家政	岡　田　登代子	（景　山）
S32	家政	石　井　恵　子	（正　吉）
S33	家政	内　田　洋　子	（内　田）

S33	家政	松川ミチエ	（谷川）
S33	家政	稲垣　薫	（藤井）
S34	幼教	宮岡美子	（那須）
S37	家政	岡本順子	（井口）
S37	家政	原田和子	（内田）
S38	家政	中下洋子	（中西）
S38	保育	廣元美登子	（迫水）
S38	家政	田島薫子	（泉）
S39	保育	岩田典子	（藤井）
S39	保育	出口ヤウ	（寺沢）
S40	栄養	岡野田鶴子	（―）
S40	保育	弓場則子	（岡野）
S40	保育	大森弘子	（三宅）
S40	保育	山本一女	（山本）
S41	保育	森上敏子	（岡野）
S41	栄養	西野浪子	（西田）
S42	保育	小野美代子	（大橋）
S42	保育	石井智代子	（秀川）
S42	家政	大島明美	（大島）
S42	栄養	丸山千波	（槇原）
S42	栄養	古屋幸子	（斉藤）
S42	保育	今城八重子	（定歳）
S42	保育	的場智恵子	（平田）
S43	家政	槇野千晴	（木原）
S44	保育	守屋恒子	（守屋）
S44	保育	信藤直美	（林原）
S44	家政	湯畑富貴恵	（弓井）
S45	保育	池本文子	（金高）
S47	幼教	山下範子	（渡辺）
S47	幼教	白神富子	（大塚）
S47	幼教	勝村幸子	（中島）
S48	幼教	鴨井啓子	（渡辺）
S52	幼教	中土井悦子	（佐藤）
S52	幼教	秋山智代	（―）
S52	幼教	山上幸子	（宮武）
S52	幼教	西　早苗	（井上）
S53	食物	土屋信子	（―）
S54	幼教	多田祥子	（多田）
S55	幼教	山下弘子	（鈴木）
S58	幼教	平松弘子	（三浦）
S62	幼教	高岸益子	（野瀬田）
S62	幼教	潤口昌子	（藤本）
S63	英語	若狭康江	（岡本）
H２	英語	杉原美奈子	（―）
H２	食物	木嶋秋子	（畠中）
H20	食物	中西緩奈	（那住）
H23	幼教	辰己麻奈	（外川）
H23	食物	川井智絵	（―）
H24	食物	井上紗央里	（平田）
R４	食物	佐伯友子	（―）

拠金内訳	
3,000円× 3名	9,000円
5,000円×46名	230,000円
10,000円×15名	150,000円
15,000円× 1名	15,000円
30,000円× 2名	60,000円
合　計	464,000

岡山学院大学・岡山短期大学 ICT リテラシー教育のための拠金の御礼 および拠金継続について

母校のICTリテラシー教育の益々の発展を支援するため、一千万円を目標に拠金を継続してまいりました。下記の通り、多数の方々のご協力を得ましたこと、発起人一同心より御礼申し上げます。

しかし、下記のように未だ目標額には遠くおよびません。拠金は、継続して積み立てることになっておりますので、今後も皆様の温かいご支援をいただき目標額を達成するべく、拠金の受付をいたしますので、何とぞご協力をよろしくお願い申し上げます。

なお、平成19年度に第１回目の贈呈（図書館ノートPC12台〈3,000,000円〉）、令和元年度に第２回目の贈呈（図書館ノートPC５台〈669,600円〉）、令和２年度に第３回目の贈呈（栄養計算ソフト導入５台〈176,000円〉）を行っています。

拠　金　総　額

年　度	拠　金　額	振込手数料	累　計
平成14・15年度	1,927,624円	16,220円	1,911,404円
平成16年度	590,000円	4,420円	2,496,984円
平成17年度	363,000円	4,430円	2,855,554円
平成18年度	280,000円	3,930円	3,131,624円
平成19年度	335,000円	4,920円	3,461,704円
平成20年度	287,000円	5,360円	3,743,344円
平成21年度	202,000円	0円	3,945,344円
平成22年度	215,000円	0円	4,160,344円
平成23年度	210,000円	0円	4,370,344円
平成24年度	1,190,000円	0円	5,560,344円
平成25年度	133,000円	0円	5,693,344円
平成26年度	138,000円	0円	5,831,344円
平成27年度	113,000円	0円	5,944,344円
平成28年度	156,000円	0円	6,100,344円
平成29年度	219,000円	0円	6,319,344円
平成30年度	151,000円	0円	6,470,344円
令和元年度	196,000円	0円	6,666,344円
令和２年度	229,000円	0円	6,895,344円
令和３年度	55,000円	0円	6,950,344円
令和4年12月末現在	180,000円	0円	7,130,344円
合　計			7,130,344円

※平成21年度より拠金にかかる振込手数料は、決算書の支出科目に手数料支出を設けそちらで管理することとなりました。

拠金発起人一同

令和元年度　収支決算書

（平成31年４月１日から令和２年３月31日まで）

収入の部	
科目	金額（円）
繰越金	10,217,914
当年度新入会員会費受入収入	1,720,000
翌年度新入会員会費	1,900,000
翌々年度新入会員会費	20,000
総会費	328,500
50年の歩み冊子収入	2,300
拠金収入	196,000
雑収入	1,025
合計	14,385,739

中国銀行スーパー定期	6,000,000
笠岡信用金庫定期預金	5,000,000

支出の部	
科目	金額（円）
会議費	475,490
交通費	66,177
印刷費	671,555
通信費	939,141
慶弔費	0
消耗品費	17,766
手数料支出	9,194
翌年度新入会員会費支払支出	1,900,000
翌々年度新入会員会費支払支出	20,000
同窓会栄養士会助成費	0
管理栄養士受験支援	49,700
拠金支出	669,600
予備費	
次年度繰越金	9,567,116
合計	14,385,739

令和２年度　収支決算書

（令和２年４月１日から令和３年３月31日まで）

収入の部	
科目	金額（円）
繰越金	9,567,116
当年度新入会員会費受入収入	1,900,000
翌年度新入会員会費	1,040,000
翌々年度新入会員会費	80,000
総会費	0
50年の歩み冊子収入	500
拠金収入	229,000
雑収入	1,022
合計	12,817,638

中国銀行スーパー定期	6,000,000
笠岡信用金庫定期預金	5,000,000

支出の部	
科目	金額（円）
会議費	0
交通費	1,564
印刷費	764,849
通信費	957,340
慶弔費	0
消耗品費	26,473
手数料支出	6,104
翌年度新入会員会費支払支出	1,040,000
翌々年度新入会員会費支払支出	80,000
管理栄養士受験支援	17,842
拠金支出	176,000
予備費	
次年度繰越金	9,747,466
合計	12,817,638

令和３年度　収支決算書

（令和３年４月１日から令和４年３月31日まで）

収入の部	
科目	金額（円）
繰越金	9,747,466
当年度新入会員会費受入収入	1,040,000
翌年度新入会員会費	1,340,000
翌々年度新入会員会費	40,000
総会費	0
50年の歩み冊子収入	0
拠金収入	55,000
雑収入	3,508
合計	12,225,974

中国銀行スーパー定期	6,000,000
笠岡信用金庫定期預金	5,000,000

支出の部	
科目	金額（円）
会議費	4,911
交通費	9,780
印刷費	149,389
通信費	723,722
慶弔費	0
消耗品費	7,099
手数料支出	355
翌年度新入会員会費支払支出	1,340,000
翌々年度新入会員会費支払支出	40,000
管理栄養士受験支援	26,379
予備費	
次年度繰越金	9,924,339
合計	12,225,974